

本館1、2階 高齢者福祉研究発表

介護記録のICT化に向けて

発表者 望月智子

ICT化のメリットとデメリット

- メリット
 - * 記録の簡略化、一元化
 - * 情報の共有
 - * 保存場所や時間のスマート化
- デメリット
 - * 個性性が薄くなる
 - * 得手不得手が業務に大きく影響する
 - * モチベーションが下がる
 - * 情報の漏洩



「ICT化」第一弾 「職員の健康チェック表」 の電子化



「パソコンだけは
止めてっていったのに！」



「私に辞めろって
言ってるの！」

「パソコンが打てればエライのか！」



「パソコンばかりやって
仕事しなくなるんじゃないの！」

「四角い枠が上手く動かない！
入力できない！」



「本当に面倒くさい！
仕事がいやになっちゃう！」

「どうせ定年だから
覚えなくてもいいのに！」

「ICT化」第二弾
「希望休カレンダー」
 の電子化



「何でそう私達を
 いじめるような事ばかりやるの！」
 「希望休を取るなってこと！」
 「私達を辞めさせたいんだね！」



「腰痛 (YOUTSUU)」
 ↓
 「苦痛 (KUTSUU)」



「会議を設け、委員同士で役割や意図をしっかりと共有すべきではないか」

「まずは、パソコンに触れる事をメインにして進めていって見てはどうか」

介護長からの
 ありがたい金言です!!!
 ★★*(星3つ)



「私が定年になるまではパソコンにするのは本当に止めて欲しい。でも健康チェック表はやっとできるようになったよ」

「やっとの思いで、名前をローマ字入力できた」

「息子に家で教わっているので出来るようになりました！」

「自宅でIpadを購入して練習しています」

「壊れたPCでイメージトレーニングする」



トラブル発生!!!
 せつかくパソコンに打ったのに・・・
 「のどが痛い」「家族が発熱」「昨日吐いた」
 そんな職員が・・・

↓

誰も気にしない!
 そのまま働いてしまう!



「ICT化」は
業務のスムーズ化が図れ、環境が改善される
でも…
人と人が直接会う事によって得られる情報は乏しく、すれ違いが生じる恐れがある



「ICT化委員会」開催！



- ・失敗も明るく次への課題として、みんなで楽しく取り組む
- ・「介護記録とは何だろう」と常に原点に立ち返り、介護職員としてのスタンスを忘れない
- ・現場の雰囲気を壊さないよう無理をせずみんなでゆっくり取り組む
- ・パソコンがどうしても難しい職員には、みんなでフォローしていく
- ・パソコン教室を開催する
- ・先輩職員への恩返しをしたい



「アナログはレガシー」

★ただ入力するだけでなく、目と目を合わせ、会話し、メモ等を残す事も必要！

※「レガシー」とは「遺産」の意味です



「介護は人と人との
関わり合いの仕事」



そんな中…

- ・全く新しい事を覚える事の大変さ
- ・パソコンよりオムツの当て方を教えた方がいいのではないかとホボ…
- ・夜間業務をこなしながらパソコン入力する事への不安
- ・自分はもう必要ではないのか



介護という仕事は・・・

- ・十分な人手がなかなか確保されにくい
- ・お盆や正月も関係なく
24時間、365日、毎日の仕事である
- ・職員全員で集まる事が
難しい職場

悩むICT委員



パソコン教室対策 「マニュアル」作成

みんなわかって
くれるかなあ・・・



第一回 パソコン教室 開催！！！！



怒号1

「右だ！左だ！ボタンが分からない！」
「ボタンを1回押すだ！2回押すだ！
どっちかハッキリして欲しい！」
「言われるままに
やっているのに分からない！」

こまったなあ・・・



怒号2

「冷や汗かいた！」
「もう忘れそう！」
「ジュースがない！」

どうにかしてー！



怒号3

「明日には忘れてるよ！
だってオバサンだもの！」



レジェンド！！！！
白扇閣の重鎮！74歳！

